

基礎生物学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会・心理学・教育学委員会合同
生物リズム分科会
第25期・第3回 議事録

日時：令和4年8月4日（木） 15時00分～17時00分

場所：ZOOMによるオンライン会議

出席：深田委員、秋山委員、上田（昌）委員、上田（泰）委員、遠藤委員、
尾崎委員（途中参加）、近藤委員、坂田委員、佐竹委員、内匠委員、沼田委員、
本間（研）委員、本間（さ）委員、三島委員、吉村委員

欠席：影山委員

報告事項

1. 「パンデミックと社会に関する連絡会議」からのアンケートについて

「ケア（健康、メンタルヘルス、介護予防）」サブテーマのワーキンググループの立ち上げにあたって、これまでおよび今後の活動状況に関するアンケートが届いた旨が深田委員長より報告された。

コアメンバーである尾崎委員と相談のうえ、生物リズム分科会としての回答を決定した。

2. 日本学術会議 臨時総会の開催について

深田委員長から8月10日（水曜）に臨時総会が開催されることが報告された。

審議事項

2. 公開シンポジウム開催の可能性について

社会との接点をできる限り作っていくのが学術会議の責務であり、そうしたなかで、分科会として発出できるものが「提言」から「見解」へと変更となったこともふまえて、公開シンポジウム開催できれば、との提案が深田委員長よりなされ、多くの委員から賛同が得られた。

シンポジウムの内容や開催時期については、2022年6月30日～2023年6月30日が国際基礎科学年であること、委員の任期が2023年9月30日までであることを念頭に、委員の間で議論を行った結果、以下のような内容で原案づくりの作業を進めることとなった。

ワーキンググループメンバー

沼田委員、吉村委員、秋山委員、佐竹委員

内容

生物リズムについての分子的な話も含めつつ、概日/概年リズム、季節変動、環境適応などのうち、本分科会でこれまでそれほど扱ってこなかったヒト以外についても含めた内容とする。シンポジウムの内容を考える大きな方向性として「環境変動と生物リズム」が沼田委員より提案され、深田委員長から了承が得られた。

日時

シンポジウム開催の3ヶ月前には幹事会に諮る必要があることから、11月中に開催予定の分科会までの原案作成を目指す。